

共同試験事業の現状について

2025年7月 23日
北海道生コンクリート工業組合

共同試験事業は関係各位のご協力により本年7月に6年目を迎えました。
この事業は、紆余曲折を経て2020年7月にスタート、初年度（2020年度）の手数料収入は、事業期間が9ヶ月のため7,577万円でしたが、その後、コンクリートに関する各種試験の増に支えられ順調に推移し2024年度は12,732万円となりました。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
手数料収入(税込み)	7,577万円	9,558万円	11,110万円	12,230万円	12,732万円	
(伸び率)	—	(+21.6%)	(+16.2%)	(+10.1%)	(+4.1%)	

しかし、その伸び率は安定基盤を支えるセメント試験の喪失により鈍化、下期の試験が喪失した2024年度は+4.1%で、上期のセメント試験が喪失する2025年度は前年を下回る可能性を否定できない状況にあります。

このため、安定基盤の強化を図るため、骨材の品質確認は、技術センター発行の試験成績書により確認することを基本とし、**組合員工場から骨材業者に対し試験成績書発行元の変更を要請する取り組みを各協組において徹底されるよう特段のご配慮をお願い致します。**

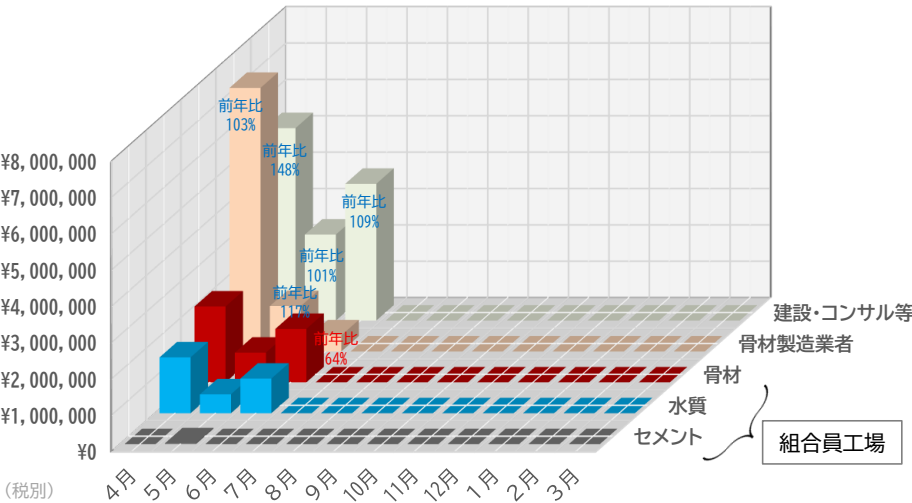
1. 共同試験事業の経緯

- 2020年 5月 第43期通常総会において共同試験事業の開始を議決
- 7月 コンクリート技術センターを設置し「道央試験所」(札幌市)及び「道南試験所」(北斗市)において共同試験事業開始。
- 8月 セメント物理試験室空調設備/モルタル三連型枠更新 ～中央会支援事業事前着手～
- 9月 令和2年度課題解決型組合集中支援事業助成金交付決定(北海道中小企業団体中央会、228万円)
- 12月 事業継続力強化計画に係る認定(北海道経済産業局長)
- 12月 経営革新計画に係る承認(北海道知事)
- 2021年 4月 ものづくり補助金交付決定(1,000万円)
- 7月 経営力向上計画認定(北海道経済産業局長)～中小企業経営強化税制(B類型)～
- 7～8月 試験用機材取得(道央9、道南3) ～ものづくり補助金事業～
- 9月 ものづくり補助金確定(1,000万円)
- 2023年 1月 IT導入補助金2022(通常枠B類型、8次)交付決定(203万円)
- 3月 電子契約導入(CLOUDSIGN) ～IT補助金事業～
- 4月 試験手数料改定(平均5.3%値上げ)
- 6月 販売管理システム導入(PCA+kintone) ～IT補助金事業～
- 7月 IT導入補助金確定(203万円)

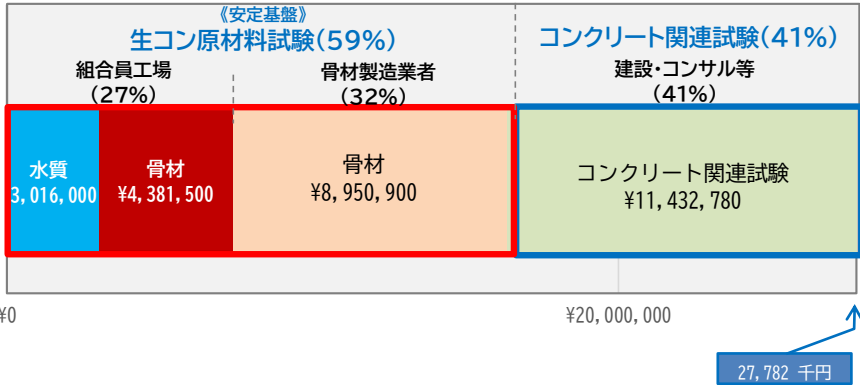
2. 2025年度手数料収入実績

			(試験番号)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1Q累計
《安定基盤》	生コン原材料試験 組合員工場	セメント試験	400	¥-21,900	¥23,000	¥0										¥1,100
		水質試験	300	¥1,539,400	¥522,400	¥954,200										¥3,016,000
		骨材試験	100・200	¥2,090,300	¥819,500	¥1,471,700										¥4,381,500
		骨材製造業者	100・200	¥7,254,000	¥1,253,300	¥443,600										¥8,950,900
	コンクリート 関連試験	建設・コンサル等	000・100 200・300 400・500 600・700 800・900	¥5,296,550	¥2,370,550	¥3,765,680										¥11,432,780
合 計 前年比				¥16,158,350 114%	¥4,988,750 101%	¥6,635,180 106%	¥0 0%	¥0 0%	¥0 0%	¥0 0%	¥0 0%	¥0 0%	¥0 0%	¥0 0%	¥0 0%	¥27,782,280 110%

2025年度月別手数料収入(税別)



2025年度 1Q 手数料収入(税別)



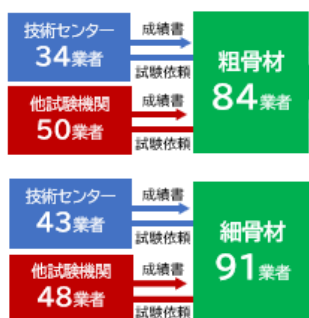
3. 骨材試験の受託状況

月	年度 初回受 託工場 (業者) 数	月毎の延 べ受託 件数	細骨材(試料数)											粗骨材(試料数)											
			ふるい分け 1回/月以上 2101/1101	微粒分量 1回/月以上 2102/1102	密度・吸水率 1回/月以上 2103/1103	単位容積質量 2104/1104	安定性	砂 粘土塊量	砂 有機不純物	砂 塩化物	砕砂 実積率	アル骨反応性(2回/年以上)		ふるい分け 1回/月以上 2201/1201	微粒分量 1回/月以上 2202/1202	密度・吸水率 1回/月以上 2203/1203	単位容積質量 2204/1204	安定性	砂利は舗装用 すり減り	砂利 粘土塊量	砕石 実積率	アル骨反応性(2回/年以上)			
							1回/年以上 2105/1105	1回/月以上 2106/1106	1回/年以上 2107/1107	1回/年以上 2108/1108	1回/月以上 2109/1109	化学法 2110/1110	モルタルバー法 2111/1111					1回/年以上 2205/1205	1回/年以上 2206/1206	1回/月以上 2207/1207	1回/月以上 2208/1208	化学法 2209/1209	モルタルバー法 2210/1210		
組合員工場																									
4月	8	8	0	0	0	0	9	0	8	10	0	2	2	0	0	0	0	14	14	0	0	3	5		
5月	4	6	0	0	2	0	6	0	5	6	0	4	1	0	0	2	0	5	5	0	0	2	0		
6月	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1		
7月																									
8月																									
9月																									
10月																									
11月																									
12月																									
1月																									
2月																									
3月																									
合計	14	17	0	0	2	0	15	0	13	17	0	7	4	0	0	2	0	19	19	0	0	6	6		
前年	21	21	1	1	1	1	13	0	11	16	1	8	6	0	0	0	0	16	16	0	0	8	6		
骨材製造業者																									
4月	31	34	19	18	19	18	28	17	21	26	2	16	4	24	24	26	26	44	44	18	9	24	7		
5月	6	9	0	0	0	0	2	0	2	2	0	4	0	2	1	1	1	9	9	0	2	9	1		
6月	2	6	3	3	3	3	3	2	3	3	0	4	0	2	2	2	8	1	1	0	1	0	0		
7月																									
8月																									
9月																									
10月																									
11月																									
12月																									
1月																									
2月																									
3月																									
合計	39	49	22	21	22	21	33	19	26	31	2	24	4	28	27	29	35	54	54	18	12	33	8		
前年	42	50	29	20	28	21	33	18	26	31	4	23	3	36	34	35	33	64	64	24	14	39	5		

(1) 共同試験事業の活用促進（安定基盤強化）

171の校舎工場のうち、170工場(99%)から回答が得られました

◆骨材調達先◆



170工場中

105工場

技術センター発行の成績書により品質確認

108工場

④ **他の試験機関**発行の成績書により品質確認

72工場 道内の試験機関発行
34工場 道外の試験機関発行
29工場 非回答
《妥当とする理由》

信頼できるから(60)/試験結果が満足
できるから(45)/工場側から試験機関
を指定(6)/非回答(4)

52工場

46 下欄

成績書

土佐市立小・中学校に試験依頼

試驗依賴

←

5工場 道内の試験機関

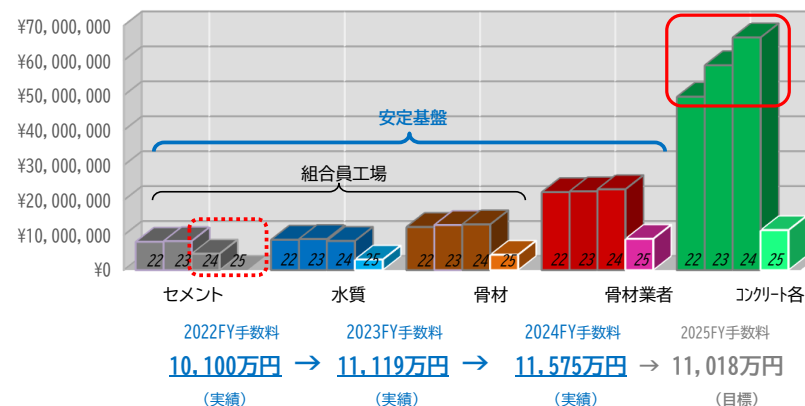
3工場 非回答

《理由》

信頼できるから(4)/試験結果が満足できるから(2)/手数料が安価(1)/試験結果報告が早い(1)/技術センターにないサービスがあるから(0)

技術センター（道央試験場及び道南試験場）は、生コンの品質を確保する上で欠かせない全生連の認定を取得し、JIS Q 17025「試験所及び校正機関の能力に関する一般的要求事項」に適合する試験場（第三者試験機関）として信頼性が担保された組合員のための試験場です。積極的な活用をお願いします。

試験手数料(税別)



受託件数の推移 (2024FY 対 2025FY)

A. 原材料試験（件数）

A. 原材料試験 (件数)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
安定 基盤	細骨材試験	2024FY	236	25	50	22	11	41	66	43	19	49	21	143	726
		2025FY	218	34	41										293
		増減	-18	9	-9										
	粗骨材試験	2024FY	293	56	29	26	14	37	50	85	31	67	23	201	912
		2025FY	290	49	20										359
		増減	-3	-7	-9										
	セメント試験	2024FY	11	59	8	590	12	9	9	11	8	76	11	9	813
		2025FY	5	3	4										12
		増減	-6	-56	-4										
	水質試験	2024FY	33	17	18	20	16	10	9	10	6	5	22	26	192
		2025FY	32	19	20										71
		増減	-1	2	2										

※JIS Q 1011の改正により2025年7月のセメント試験件数が激減。

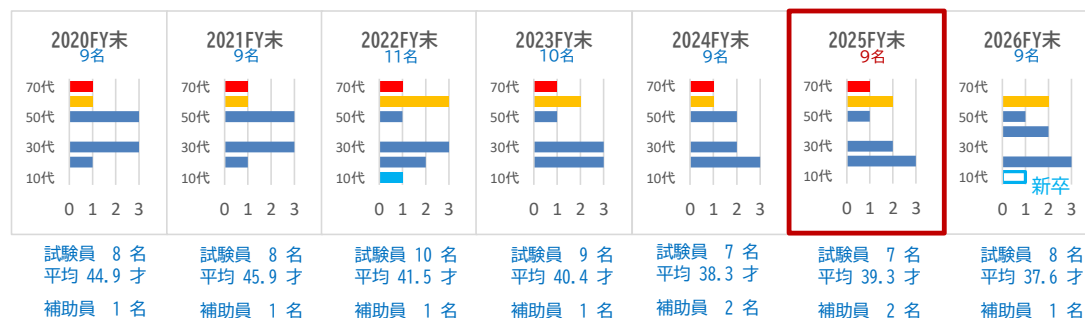
B. 原材料以外の試験（件数）

[illegible]

(3) 試験員の確保

- 2024年度末における試験員は7名(道央4名、道南3名)。試験員の平均年齢は38.3才。
- 近年、原材料以外の試験の増加に伴い、ピーク時には残業により対応しており人手不足。このため、2026年4月に工業高校新卒採用を目指す方針。

■試験員年齢構成の推移■



5. 教育訓練等

《2025年度》

①第23回生コン技術大会(全生連) ～論文発表～ 日経ホール(東京)

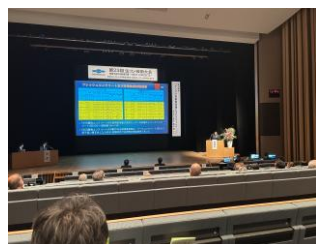
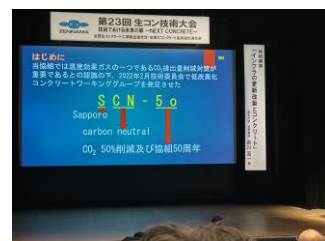
終了

【2025年4月10日(木)】

14:55~16:30 第3セッション【特定課題1・低炭素型コンクリート①】

特6. 高炉セメントB種の一部をフライアッシュに置換した低炭素コンクリートのJIS標準化について
札幌生コンクリート協同組合 低炭素コンクリートWG SCN-5。

○神本邦男・松本龍彦・神坂和博・鈴木法男・黒田英二



【2025年4月11日(金)】

14:25~16:00 第7セッション【特定課題1・低炭素型コンクリート③】【特定課題2・省力化・省人化】

特21. 骨材試験における試験最小量に関する検討実験

北海道生コンクリート工業組合 コンクリート技術センター

○松田心平・池田進・平野晃太・鈴木真照・松田愛生



②指定試験項目研修会(全生連) ～参加者～ 道央/鈴木、道南/松田(愛)

目 的:認定共同試験場技術職員の技術力の向上。
開催日:2025年7月 (全生連中央技術研究所)
開催地:全生連中央技術研究所

③共通試験(全生連)に参加 ～道央試験所&道南試験所～

目 的:共同試験場がJIS Q 17025 の要求に基づき、自らのパフォーマンスを監視する。
試験項目のうち、コンクリート試験(圧縮強度、静弾性係数)、骨材試験(アルカリシリカ反応性(化学法・モルタルバー法・迅速法)、ふるい分け)については、公益財団法人日本適合性認定協会から認定されたJIS Q 17043(適合性評価－技能試験に対する一般要求事項)の技能試験プログラムとして実施。

区分	試験項目		最大 参加 試験 所数	参加申込み 締切	試験試料の 送付時期	試験実施期間/日 (予定)	試験データ 報告期限	最終報告書 発行時期
前期	コンクリートの長さ変化※		40	4月25日	6月中旬	6月～12月	12月下旬	2月下旬
	骨材のアルカリ シリカ反応性※	化学法・迅速法	60		5月上旬	6月～8月	8月下旬	10月上旬
		モルタルバー法			5月上旬	6月～1月	1月下旬	3月上旬
	コンクリートのアルカリシリカ反応性迅速法		20		7月下旬	7月31日	8月7日	9月下旬
	はかりの校正		－		－	8月～10月	10月下旬	12月上旬
今後の共通試験実施計画 以下の試験項目につきましては、9月にあらためてご案内申し上げます。								
後期	コンクリートの圧縮強度※		150	9月下旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬	1月下旬
	コンクリートの静弾性係数		40		10月下旬	11月上旬	11月中旬	1月下旬
	練混ぜ水の品質		70		11月中旬	11月～12月	12月下旬	2月下旬
	骨材のふるい分け※		100		10月下旬	10月～12月	12月中旬	2月下旬
	粗骨材の密度及び吸水率※		100					
	骨材の粒形判定実積率		80					
	温度計の校正		－					
					－			

※印は、JIS Q 17043 認定取得試験項目の技能試験プログラム

④東北地区認定共同試験場技術職員研修会

主 催:岩手工組県南技術センター
開催日:2025年10月(予定)
開催地:岩手県奥州市(予定)
参加者:道央/1名、道南/1名

⑤認定共同試験場技術職員研修会

主 催:全生連
開催日:2025年12月(予定)
開催地:東京都、千葉県
参加者:道央/1名、道南/1名